

Game Report

開催場所：東海大学九州

試合区分：第 25 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2018 年 10 月 14 日(日)

試合時間：14：00～ CC：福岡 敏徳 FU：柿原 実 SU：徳丸 昂

九州共立大学	○ 89	24	—1st—	19	● 82	東海大学九州
		15	—2nd—	24		
		27	—3rd—	24		
		23	—4th—	14		

第1ピリオド

九共大#1奥田の3Pシュートで幕を開ける。その後も立て続けに得点を重ねる九共大。対する東海大は、途中出場#1立石がジャンプシュートを決めると、#21松井も3Pシュートを決める。中盤、東海大#14権藤の連続3Pシュートで流れを掴むが、負けじと九共大#33小田もシュートを決め返す。互いに点の取り合いとなるが、#8上田が3Pシュートを決め九共大が一步リードし、24-19、第1ピリオド終了。

第2ピリオド

序盤、九共大は#1奥田、#11久保田がアウトサイドからシュートを狙う。東海大は積極的にドライブを仕掛け得点する。東海大#21松井がインターセプトからレイアップシュートを決めた残り5:17、九共大はタイムアウトを請求。タイムアウト後、九共大はセンターを2枚入れ、インサイドにボールを集める。対する東海大はゾーンディフェンスでインサイドにダブルチームを仕掛け、九共大に流れを渡さない。その後も東海大#14権藤が3Pシュートを決め、36-36に並ぶ。残り0:30、#14権藤に#21松井が合わせ、3Pシュートを決め、リードを6点に広げる。終了間際、#1奥田がジャンプシュートを決めるも、39-43、東海大リードで前半を折り返す。

第3ピリオド

東海大#14権藤の3Pシュートで始まった後半戦。前半同様、一進一退の攻防が続く。均衡を破ったのは九共大#1奥田。果敢にゴールに攻め込みバスケットカウントを奪い点差を縮めていく。しかし東海大の粘り強いディフェンスにミスが続く九共大。その隙に速い展開で得点する東海大。残り時間2:00を切り、九共大#14田川が3Pシュートを決め、60-60、ゲームは振出しに戻る。東海大#14権藤が連続で得点を重ね、点差を広げるが、九共大も#33小田がリング下でシュートを決め、66-67と東海大が1点リードで、勝負の行方は最終ピリオドへ。

第4ピリオド

開始直後、九共大#14田川の3Pシュートが決まる。しかし、東海大も#9清辻がバスケットカウントを沈め、流れを渡さない。その後も、東海大#9清辻が果敢なオフェンスで九共大のファウルを誘う。中盤、九共大#14田川の3Pシュート、#11久保田のドライブで5得点を挙げ、一気に東海大を突き放す。堪らず東海大は残り5:31、タイムアウトを請求。タイムアウト後、東海大はアーリーオフェンスで積極的に攻めるが、得点に繋がられない。リードを保つ九共大は#25野口がリング下で奮闘する。最後まで粘った東海大であったが、九共大の流れを断ち切れず、89-82で九共大が勝利した。